

令和7年度 小平市立学園東小学校 授業改善推進プラン 4年

学年	学年の指導方針	改善方法・改善策	評価方法	12月	3月
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を身に付け、適切に用いることができるようにする。 自分の考えを適切な言葉で記述することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字ノートの形式を児童の実態に合わせたものを採用し、習熟の時間を確保する。自主学習で漢字に取り組む場を用意する。 短作文、授業の感想、視写、自主学習などで、文章を書く機会を増やし、記述の時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート・作文・テスト、小テストで達成できているか評価する。 作文、ノートなどから思考の過程や記述表現を評価する。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 見方を働かせて資料を読み取ることができるようになる。 自分の考えを適切な言葉で記述することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の見方を身に付け、調べたり課題を解決したりして、追求していく活動を実施する。 友達の考えを聞いてノートに書いたり、模範となるようなノートを掲示したりして良さを広める。 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの記述、ワークテストから知識・技能を評価する。 授業での発言やノートの記述から思考過程を評価する。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 既習の学習をもとに考える力、表現する力を身に付けさせる。 数のしくみを考えながら発展的に考えられる力を付けさせる。 かけ算、わり算の計算力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵や図、具体物を使って、イメージしやすい活動を取り入れ、自分の考えを表現する方法を指導する。また、友達と考えを共有することで考えが深められるようにする。 個に応じた、プリントなどを活用し、基礎基本の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート、ワークシート、ワークテストから知識と技能を評価する。 机間指導でノートの記述やつぶやきを把握し、思考過程を評価する。 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 問題把握を確実にさせてから、調べる観点を明確に示し、考えながら観察や実験に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の疑問や関心から問題を設定し、予想を立てさせたり実験方法を考えさせたりする等、問題解決型の学習を行い、主体的に取り組ませるようにする。 単元の最後に振り返りのワークシートや動画資料を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート、ワークシート、ワークテストから知識技能を評価する。 観察カード、発言から評価する。 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 器楽、鑑賞、音楽づくりと、どの領域もバランスよく取り組むように進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 運指の補助として既習のリコーダーの運指を毎時間掲示する。 児童が主体的に取り組めるよう十分な活動時間を確保する。 用語・記号など繰り返し復習し、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏の聴取や実技テストや提出物等で評価する。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 道具類の安全安心な使い方を指導し、製作に生かす。 決まった形でなく、自分らしく広げていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入時や制作過程で、繰り返しめあてや道具の使い方について、指導を行い、目指すことが明確になるようにする。 学習したことを生かして、さらに発展していけるように言葉かけをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作過程や作品から、意欲や道具の使い方の技能を評価する。 鑑賞や作品例などを多く示して、可能性を広げる。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に運動に取り組ませる中で、模範の動作を示したり、正しい動きを考えさせたりする中で技能面を伸ばせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> できる喜びを味わえるように、スモールステップで課題に取り組めるように助言する。 模範演習や動画を通して正しい動作を知らせ、児童間での教え合いや助け合いを推奨し、適切な動きを身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動中の様子を観察して、技能を評価する。 学習カードや発言から思考過程を評価する。 		
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 課題意識をもって学習に取り組み、いろいろな方法で調べ、まとめることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習のポイントをおさえ、課題や内容によって児童が学習者用端末や本を選択できるようにする。 よりよいまとめの方法を全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察や成果物（スライドなどの発表資料）、振り返りカード（自分、友だち）から思考過程などを評価する。 		
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 学校や学級の一員として楽しく過ごし、自立した行動ができようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級会や係活動を児童が提案したり、活動したりする中で、児童が主体的に活動に取り組めるように促していく。 学級会や日常の学習で隣同士、グループでの話し合い活動を取り入れ、意見を述べやすい雰囲気、伝え合う習慣を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動、係・当番活動の様子を観察して評価する。 振り返りでの自己評価、相互評価から思考過程を評価する。 		
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 身近で簡単な事柄について、間違えることを恐れずに積極的に話せるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> チャンツやゲームを行ったり、発音の練習をペアやグループで行ったりする。それでも発音に不安がある児童には個別に支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言や発表から技能や態度を評価する。 		
特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> 教材の内容項目を自分事として捉えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材中の人物の心情に着目させ、人物の気持ちを考えさせたり、役割演技を用いたりする中で、日常生活の自分の体験を思い起こさせ自分と向き合うことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の時間の終末に、児童の考えをワークシートなどに書かせ、自己と向き合う姿を評価する。 		
I C T	<ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末の操作が分かり、いろいろな場面で使えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字表を手元に置いたり、ノートに下書きしたりすることで、段階を踏んで活動に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末を使いこなし、自分の考えをスライドなどにまとめたりできるか評価する。 		